

栃の木からの手紙

2021年 長月 9月号



7日： 白露： 新月 旧 8月 1日
21日： 満月 十五夜 旧 8月 15日
23日： 秋分

9月3日有機JAS芋の収穫を始めました。今年程、多品種の芋を作っていて良かったと感じた年はありませんでした。全体的には、培土の時期・やり方を変えた為か変形が少なかった。また、天候の影響で、品種の性質が露わになったり、疫病の発生が抑えられて収量に影響したりしました。

5種類の芋の中の3種類のほとんどは、9月25日に既に出荷されました。その正品としての収穫量を見ると、きたあかり芋は、昨年²⁰²⁰の128%。とうや芋は、115%。さやあかね芋は、40%。



上の写真のトラクターの左側には、澁原芋コナユタカの白い花が2回目の花を咲かせています。さやあかねは、花を咲かせることはありませんでしたが、土の中では二次成長が進んでいて左写真の様に変形が多い。

今年のさやあかね芋は、こけしの様な変形や、既に発芽している芋が多く減収となっています。

2021年8月24日芋の様子

2020年8月22日



きたあかり：とうや



とうや：きたあかり

上の写真は、昨年と今年のきたあかり芋ととうや芋の同時期の様子。緑に見える部分は殆ど雑草です。芋が枯れる事で雑草の成育が促進されます。昨年²⁰²⁰の場合は、早くから疫病の為に芋が枯れる為雑草が大きくなり、今年²⁰²¹の場合は、芋が8月中旬まで青かった為雑草が小さい状況でした。

6月下旬から8月上旬の早魃は作物の生育を押さえてしまいましたが疫病の蔓延も抑えてくれました。8月中旬以降の雨は、2次成長を促し変形芋が多くなりました。